

むしもちごしよ

十字御書

御書新版……………2037頁6行目〜9行目
御書全集……………1492頁6行目〜8行目

今、正月の始めに法華經を供養し、
をくようしまいらせんとおぼしめす御心は、木より花のさき、池より蓮のつぼみ、雪山のせんだんのひらけ、月の始めて出ずるなるべし。

今、日本国の、法華經を敵かたきとして、わざわいを千里の外よりまねき出だせり。これをもつておもうに、今また法華經を信ずる人は、さいわいを万里の外よりあつむべし。

今、正月の初めに法華經を供養しようと思われ
るお心は、木から花が咲き、池から蓮のつぼみが出て、雪山の梅檀の双葉が開き、月が初めて出るようなものであろう。

今、日本の国は法華經を敵かたきとして、わざわいを外から招き出している。このことから考えてみると、今また、法華經を信ずる人は、幸いを万里の外から集めることであるう。

